

ハラスメント防止研修会 を開催します

部局ごとで開催します。

日時・場所は [こちら](#) で御確認ください。

(クリックすると、研修会会場の一覧表が開きます)

「ハラスメント」という言葉自体は、広く一般に認知されるようになり、職員の皆さんも一度は耳にしたことがあると思います。

その一方で、学生への教育研究指導上・業務遂行上、「この言動はハラスメントになるのだろうか？」と悩まれる方も多いと思います。

今回の研修は、「セクシュアル・ハラスメント」「アカデミック・ハラスメント」それぞれについて、ドラマ形式のDVDを視聴します。

セクハラについては、「これってセクハラになる？ ならない？」というグレーゾーン - 例えば服装を注意する、懇親会や酒席への出席を求めるなど - に、どう対応すべきかを学びます。

アカハラについては、主に「職場の上司と部下」の間で起こる問題を、上司や部下のタイプ別対応策を学びます。

学生・職員間、職員同士でのコミュニケーション・ギャップをつくらないために、ハラスメントの被害者にならないために、無意識のうちに(意識的に、は論外です)ハラスメントの加害者にならないために、ぜひ、研修にご参加下さい。

～ ハラスメントの被害者・加害者にならないために ～

主催：国立大学法人山口大学イコール・パートナーシップ委員会

今回のハラスメント研修で何を学ぶか・・・。

最初の20分！は、アカデミック・ハラスメントについて研修します。大学特有の環境を設定したアカデミック・ハラスメント研修用メディア教材ではありませんが、企業で利用されている最新版のパワー・ハラスメント防止研修のDVDを用います。ハラスメントを未然に防止するためにいま必要とされているのは、企業においても対人関係の円滑な構築なのかもしれません。

【パワーハラ防止対策DVD】:「ケースで学ぶパワーハラスメント対応 「効果的な指導」との違いを知る(日本経済新聞社2006年)

前半20分: パワーハラがなくなる話し方・接し方

後半20分: どこからがパワーハラか

今回は上記DVDの中から、**前半20分の「パワーハラがなくなる話し方・接し方」のみを視聴します。**パワー・ハラスメントはセクシュアル・ハラスメントと比較すると、その定義・概念認識のほどは浸透度がまだまだ低い・・・というのが大学での現状かもしれません。場の設定は、企業のオフィスであり、大学特有のアカデミック・ハラスメントとは異なるドラマ仕立てですが、職員と教員、教員と教員、教員と大学院生、教員と学生といったさまざまな上下関係に共通の人間関係、その距離のとり方、ハラスメントの根につながるコミュニケーションギャップの問題に立ち入ります。これらが芽となりハラスメントにつながる行為を未然に防止するための知恵を授けています。次に「どこからがパワーハラか・・・」という後半の20分もおすすめです。残念ながら、今回の研修では、全体の時間を考慮し、セクシュアル・ハラスメントに関するDVDも視聴するため、後半については、今後、部局での研修や個人的な研修の機会に役立ててみてください。上記DVDは吉田地区と宇部地区にそれぞれ1本ずつ用意しています(全学ハラスメント研修の期間を除く)。

後半の25分！は、セクシュアル・ハラスメントについて研修します。

【セクハラ防止対策DVD】:判例・事例から学ぶセクハラ・グレーゾーン(日本経済新聞社 2006年)

今回の研修では以下の内容から**後半の25分にあたる「検証・解説編」のみを視聴します。**前半は、ごく普通の社員や熱心な役員がセクハラに加害者として起訴されてしまう・・・という不幸な例を、加害者側の視点から描いています。今回ではこの前半は時間の関係から視聴しません。後半では、そうした不幸な例がなぜ起こってしまうのか。同じ事象を被害者サイドから描き、ハラスメントとは何かという理解を深めます。特に、ハラスメントの加害者・被害者の双方になることのないよう、未然の防止対策として解説されている10のチェックポイントに注目下さい。こちらも上記のパワーハラスメント防止研修DVD同様、吉田地区、宇部地区にそれぞれ1本ずつ用意しています。前半の加害者側から描かれたドラマも含めて、機会あるごとに役立ててみてください(全学ハラスメント研修の期間を除く)。

第1巻 討議用ドラマ編

プロローグ 3つのセクハラ事例

セクハラ・グレーゾーン2 服装を注意する

セクハラ・グレーゾーン4 合意の有無

セクハラ・グレーゾーン6 酒席でのお酌

エピローグ

セクハラ・グレーゾーン1 身体に触る / 容姿を褒める

セクハラ・グレーゾーン3 送迎する

セクハラ・グレーゾーン5 懇親会への出席

セクハラ・グレーゾーン7 食事に誘う

第2巻 検証・解説編

第1巻のドラマにおける問題点を振り返り、検証・解説していきます。セクシュアル・ハラスメントのない職場づくりを進める上で、再認識しておきたいグレーゾーンへの対応のヒントが理解できます。

プロローグ 下された判決

検証 セクハラ・グレーゾーン

身体に触る / 容姿を褒める / 服装を注意する / 送迎する / 合意の有無 / 懇親会への出席 / 酒席でのお酌 / 食事に誘う セクハラ・グレーゾーンでつまづかないための10のチェックポイント

エピローグ 人間関係の距離を測るセンス

「監修者インタビュー」「収録内容のまとめ」